

令和3年度学校評価報告書

平成4年3月7日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北見商業高等学校長 池 田 隆 印

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|------------------------------|
| 1 学校教育目標実現のための教育課程の研究実践に努める。 |
| 2 基礎学力の充実と専門的な技術の向上を図る。 |
| 3 学校生活の秩序を確立し、よりよい校風の樹立に努める。 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	○商業教育を学ぶ生徒に必要な知識・技術等を明確化し、共通理解のもと教育活動を展開することが重要である。 ○学習指導要領の改訂に向け、学習指導法や評価方法についての校内研修を計画的継続的に実施する必要がある。	○自ら考え、学ぶ意欲・態度を喚起するような学習指導や正しい職業観・勤労観を培う教育活動の充実を期待する。 ○ICTを活用した授業等への取り組みを積極的に進めてほしいとの御意見をいただいた
改善方策	○観点別評価の研究や授業評価により、学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに生徒の学習習慣の確立を進める。 ○新学習指導要領の趣旨を踏まえた研修を充実させ、教育課程編成に努める。	
生徒指導	○基本的生活習慣やマナー・礼儀に対する指導が充実し、地域からの理解と評価が得られている。	○生徒一人一人に応じたきめ細かな生徒指導に努めながら、自主自律の精神を培う教育活動が十分に行われている。
改善方策	○外部講師を活用した講演を行い、インターネットや携帯電話の利用マナーなど、情報モラル全般に関する指導を強化する。 ○教育相談や個人面談等の充実に向け、教員研修を工夫・改善し個別対応を含めた生徒指導の充実に努める。	
進路指導	○社会にでる自信を高めながら、商業高校としての優位性のある進路実現に向けた取組をより充実さえる取組を充実させる。	○将来の社会的自立を促す教育活動や進路実現に係る様々な情報・資料の収集や提供が適切に行われている。
改善方策	○進路保護者説明会や三者面談等の実施方法を工夫し、保護者との連携を強化するとともに、生徒の多様な進路希望に応じた進路指導の充実に努める。	
公表方法	○学校評議員、学校職員へ学校評価集計結果の報告と文書を配付 ○学校ウェブページに学校評価集計結果を掲載	

3 添付資料

学校評価表（教職員自己評価、学校関係者）」、保護者アンケート集計、生徒アンケート集計